

トビタッタ！柏原！ Part 2.

研究推進部副部長 土元 優一

8月23日（木）～26日（日）「韓国・金海外国語高校研修」

初日は、現地にて龍頭山公園，釜山博物館，釜山近代歴史館を見学し，釜山の歴史について学びました。

2日目は，金海外国語高校を訪問し，熱烈な歓迎を受けました。歓迎行事の後，授業にも参加し，交流を深めました。金海外国語高校は全寮制の学校で，下の表にあげる学生生活を送っています。とても勉強熱心で，第2外国語である日本語も堪能です。入学してから3年間この生活を続ける中で，グローバルリーダーとしての資質を高めていきます。本校から訪問団は，柏原高校の部活動の様子や，丹波市の魅力などについて発表しました。帰国日，別れを惜しむ生徒らの様子から，ホームステイ先で，様々な体験をさせてもらい，友好を深めてきたことがよくわかりました。

金海外国語高校生は，毎年3月に来日し，大阪大学や神戸ファッションマートで行われる『国際問題を考える日』で発表しています。柏原高校にも来校してくれますので，交流を深めましょう。



金海外国語高校生の一日の流れ

起床点呼	06:20～06:30
早朝運動	06:30～07:10
朝食	07:30～08:10
朝礼	08:20～08:30
午前授業（1～4時間目）	08:30～12:20
昼食	12:30～13:20
午後授業（5～7時間目）	13:20～16:10
掃除	16:10～16:30
補習/自習（8～9時間目）	16:30～18:10
夕食	18:10～19:10
選択授業（10～11時間目）	19:10～21:00
休憩・寮への移動	
点呼	21:15～21:20
自習（自習室）	21:20～23:00（1・2年生） 21:20～23:30（3年生）
就寝準備	23:00～23:30 23:30～24:00
入浴及び就寝	24:00～25:00



7月27日(金)～8月4日(木)「西オーストラリア大学短期語学研修」

第2学年 石野洋子

西オーストラリア大学短期語学研修に参加するため、12名(1年生7名、2年生5名)がオーストラリア西部にある都市パースへ行きました。

28日(土)は国立野生自然公園へ。ガイドさんの案内でウォンバットやカンガルー、コアラなどのオーストラリア固有の動物について説明を受けたり、エサやり体験や写真撮影を通して触れ合ったりしました。午後は兵庫文化交流センターへ。兵庫県は西オーストラリア州と提携を結んでおり、パースに兵庫文化交流センターがあります。兵庫県との交流内容やオーストラリアの地理・経済についての説明を受けた後、お菓子和飲み物を手に交流会。日本語と英語の二つの言語が飛び交う和気あいあいとした場になりました。兵庫文化交流センターを後に、いよいよホストファミリーとご対面。研修生2～3人で1つの家庭に7日間お世話になりました。



29日は日曜日で大学はお休み。ホストファミリーと自由に一日を過ごしました。ホームステイ先によっては、都市パースの夜景や買い物を楽しんだ。その翌日からUWA(西オーストラリア大学)にて授業開始です。UWAの先生の話す生の英語の授業に最初は緊張の表情を見せるも、一生懸命聞き取ったり話したりしようとする生徒たち。大学での研修内容は、オーストラリアの動物について英文で学んだり、すごろくをしたり、歌を歌ったり、会話をしたり…と様々な、生徒たちは自分の知る英単語を何とか駆使しながら励んでいる様子でした。

大学の研修は基本的には15時頃まで。放課後は日によって異なりますが、UWAキャンパスツアーに参加したり、キングパークにて現地ガイドのもと先住民文化やオーストラリアの植物について学んだり、UWAの日本語交流会の大学生と交流したりとたくさんの英語に触れる機会がありました。

3日(金)、いよいよホストファミリーとお別れ。短い間でしたが、とても素敵な時間を過ごしたであろうことを、お別れの涙が物語っていました。南半球にあるオーストラリアは、日本と季節が逆で寒かったのですが、その様子に心がほっこり暖かくなりました。生徒によっては連絡先を交換し、帰国した今も連絡をとっているそうです。UWAでは修了式が行われ、一人ひとり修了書をいただきました。午後は全員でパース近郊の都市フリーマントルへ。海洋博物館やフリーマントル市内を散策し、帰国。最初は「9日間は長い!」と思っていた生徒たちですが、終わってみると、「短かった」「また行きたい」「もっと英語を頑張る!」…と良い刺激を受けたようです。



UWA 日本語交流会の大学生と交流
(写真左2枚)

UWAにて、授業の様子
(写真右2枚)

クレアモント
UWA CLAREMONTキャンパスにて



ホストファミリーと涙のお別れ…。